

北大講義「社会の認識——選択と欲望」(2019 年度前期)
橋本努

■講義計画

1	4/10	Wed	ガイダンス
2	4/17	Wed	竹田青嗣『欲望論』第二巻
3	4/24	Wed	1
4	5/8	Wed	2
5	5/15	Wed	3
6	5/22	Wed	4
7	5/29	Wed	5
8	6/5	Wed	6
9	6/12	Wed	7
10	6/19	Wed	8
11	6/26	Wed	9
12	7/3	Wed	橋本努『学問の技法』 「A」希望者は研究計画書を提出
13	7/10	Wed	休講
14	7/17	Wed	「A」希望者はレポートのためのレジюме提出、討論
15	7/24	Wed	予備
16	8/9	Fri	「A」希望者はレポート完成稿をメールで提出

■授業の目標

この講義では、自由な人間を構成する二つの重要な特徴である「選択」と「欲望」について議論します。選択と欲望は、自由社会を築くための重要な要素です。これらの概念は、いずれも社会科学の諸分野の基本的な概念です。これらの概念について、その理論的な考察と実証的な研究の両方を取り上げて、人間の本性を解明します。

■到達目標

本講義では、講義と議論を通じて、大学生にとって必要な教養を身につけることを目標とします。また本講義では、社会科学の諸分野の研究にとって基本的な考え方を身につけることを目標とします。

■授業計画

最初の数回は、講義形式で講義を行います。その後は、参加者によるプレゼンテーションと議論を行います。詳細はホームページにて公開します。プレゼンテーションは、パワーポイント資料の作成と、その資料に基づいた報告とします。一人あたり、20-30分程度の報告時間に加えて、質疑にも応答します。プレゼンテーション後には、その資料と当日の議論に基づいて、レポートを書きます。プレゼンテーションで取り上げるテキストは、以下の中から選択していただきます。

- ・滝沢幸代『選択的夫婦別姓氏制』三省堂（法学）
- ・竹内健蔵『あなたの人生は「選ばなかったこと」で決まる』日本ビジネス人文庫（経済学）
- ・NHKスペシャル取材班『人工知能の「最適解」と人間の選択』NHK出版（工学）
- ・井原あや『〈スキヤンダラスな女〉を欲望する』青弓社（表象文化）
- ・ショーン・エイカー『成功が約束される選択の法則』徳間書店（経営学）
- ・柿谷正期/井上千代『選択理論を学校に』ほんの森出版（教育学）
- ・バタイユ『エロティシズム』ちくま学芸文庫（哲学）
- ・池上英洋『官能美術史』ちくま学芸文庫（美学）
- ・エイジャー・レイデン『宝石』築地書館（歴史学）
- ・マーリーン・ズック『考える寄生体：戦略、進化、選択』東洋書林（生物学）

■準備学習(予習・復習)等の内容と分量

橋本努著『学問の技法』ちくま新書、を読むことが課題となります。本書は、大学生向けの入門書です。

■成績評価の基準と方法

成績評価においては、出席、レポート、プレゼンテーション、および、ディスカッションを評価します。単位取得の難易度は、諸講義の平均に準じます。

提出されたレポートはすべて、講義の最後に、文章を推敲して、メールで再提出します。ですから、小レポートのデータは保存しておいてください。そして推敲した小レポートは、プリントアウトしたものとそのデータ（一つのワード・ファイルにまとめてフロッピーディスクないしCD-Rに保存したものを）、一つの封筒に入れて、8/1, AM11:30 までに、期末レポート用のボックス（教務係の窓口前に設置される予定）に提出してください。なお、すぐれたレポートは、サンプルとしてHPに掲載しますので、ご了承ください。

「A」を希望される学生は、以下のレポートを、追加で提出してください。

【「A」希望者のレポート課題】：テーマは、講義内容に直接・間接に関連する事柄とします。その範囲内で自由にご提案ください。相談の上、確定します。様式は、以下のとおりです。字数は、4,000 字以上。Microsoft Word で作成、A4 用紙、余白は上下左右すべて 30mm、文字数：40 字×40 行、10.5 ポイント、MS 明朝体+century、フッターにページ数を挿入、作成者の名前と学籍番号と日付を最初に明記。「です・ます調」は不可。「である調」で統一。手書きは不可。

レポート作成のためのスケジュールは以下のとおりです。7 月 3 日の講義までに、「研究計画書」を提出します。そのための用紙は、ホームページよりダウンロードして、作成してください。7 月 17 日の講義までに、2,000 字以上の「レジュメ（レポート作成に当たって参考にしたいいくつかの本の抜き書きメモのこと）」を作成してください。この日は、レジュメに基づいて討議します。7 月 23 日の講義までに、完成稿を提出してください。この日は、完成稿に基づいて議論します。以降は、この日の完成稿をさらに推敲します。そして、8 月 9 日の 13:00 までに、完成稿を E メールにて橋本までお送りください。

■オフィス・アワー

オフィス・アワーとは、研究室で先生と議論したりおしゃべりしたりする時間帯のことです。月曜日の 14:45-15:15（経済学研究棟 517 室）に設定しています。どうぞお気軽に、遊びにいらしてください。

■参考文献

- ・高校の授業科目「倫理」は、本講義の基礎知識となります。「倫理」を履修しなかった方

は、『チャート式新倫理』を読んで予習することをお勧めします。この他、高校生・大学生向けの『倫理思想用語辞典』山川出版も、便利で重宝します。

- ・【参考】橋本努『自由の論法——ポパー・ミーゼス・ハイエク』創文社, 1994.
- 橋本努『社会科学の人間学——自由主義のプロジェクト』勁草書房 1999.
- 橋本努『帝国の条件』弘文堂 2007.
- 橋本努『ロスト近代』弘文堂 2012.

■「人文科学の基礎」図書リスト

【岩波文庫：必読の古典】

マルクス『共産党宣言』『賃労働と資本』『賃金・価格および利潤』『ドイツ・イデオロギー』
ウェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』『職業としての学問』『職業としての政治』
スミス『国富論』『道徳感情論』
ロック『市民政府論』
ルソー『社会契約論』『人間不平等起源論』『エミール』
ホッブズ『リヴァイアサン』
ミル『自由論』
ニーチェ『道徳の系譜』『この人を見よ』
プラトン『メノン』『国家』
アリストテレス『ニコマコス倫理学』
デカルト『方法序説』『精神指導の規則』